

食と栄養のコミュニケーション [ボタラヴィ]

Bota la Vie

Contents

Topics

統合医療の普及に努めて30年！
がんコントロール協会の歩み

BOTALABO PRODUCT

グリーンでウイルス対策

Bota la Vie Recipe

ボタラボグリーン&ボタラボレッドビーツ
「飲み方アレンジ特集」

10月号
2024 Oct.

第30回 統合療法コンベンション特集

統合医療の普及に努めて30年! がんコントロール協会の歩み



統合療法に関する国内最大級のイベントが今年もやってきます。30回の節目を迎える今回は、11月9日(土)・10日(日)の2日間。がん治療はもとより、アレルギーや精神疾患、糖尿病などさまざまな病気に対する効果的な治療法、予防法が学べます。イベントを主催するNPO法人がんコントロール協会の歩みとともに統合療法の考え方の一端について紹介しましょう。

統合医療は誰にとっても身近

私たちが、普段病院で治療を受ける場合、一般的に「公的医療保険」が適用されます。公的保険は「標準治療」と呼ばれ、費用の3割を自己負担することで治療が受けられます。対して「統合医療」は、公的保険の適用が受けられない自由診療です。

費用の違いはありますが近年、統合医療を選択する医師や患者も増えていきます。その違いの一つは、標準治療は病気の「症状」に重きを置くのに対し、統合療法は「原因」に迫るところが大きな違いとして挙げられます。

標準治療では症状を取り除くための薬物治療が中心ですが、一方の統合医療では薬だけにとどまらず、栄養療法や心理療法、温熱療法、整体、鍼灸、ホメオパシーなどの民間療法を組み合わせ、原因に直接アプローチをしたり、身

体の機能の回復を図ります。

がんをはじめとする現代病の多くは生活習慣に起因するため、症状を取り除く標準治療だけでは根治が難しいケースが多く、身体の健康レベルを上げることで回復を目指す統合医療がより効果的であると考えられます。統合医療では、患者一人ひとりに最適な治療法を複数組み合わせ提案したり、患者が希望する治療や考えを優先してくれることも少なくないため、患者側にも最低限の知識があるとい

り良い結果が生まれやすいつとされています。統合療法コンベンションでは、複数のドクターや専門家の話を一度に聞くことができるため、統合医療の全体像が見える幅広い知識を身につけることができます。毎年、医療関係者だけでなく、安全な治療や健康に関心のある一般の方々の参加が多いのも当コンベンションの特徴です。

がんコントロール協会の歩み

1995年にスタートし、今年で30回目の開催となる統合療法コンベンション。設立のきっかけには、一人のアメリカ人女性が関わっています。今から70年以上前、カルフォルニア州サンディエゴに住む女性セシル・ホフマンさんは、乳がんを患い乳房の摘出手術を受けます。しかし、手術の3年後にがんが転移していることがわかり、余命も僅かであることを担当医から告げられます。

ホフマンさんは苦しい闘病生活の中で、統合医療に関する一冊の本と出会います。その本には、あんなの種子などに含まれる「レトリール(アミグダリン)」という成分を使った副作用のない画期的な治療法について書かれていました。

アメリカではレトリール治療が禁止されているため、ホフマンさんは医療特区であるメキシコティファアナに渡り、がんの統合医療で著名なエルネスト・

コントレラス医師のクリニックで治療を受けます。すると、驚くことに余命わずか末期がんから回復したのです。ホフマンさんは自らの経験をもとに、がんで苦しむ人々を助きたいという思いから、がん患者と援助者の国際協会を立ち上げます。その後、その活動の中心人物らによって1973年に「Cancer Control Society(米がんコントロール協会)」が設立されるのです。

統合医療を日本で広げるために

がんコントロール協会の日本支部ができたのは、それから約20年後の1994年のことでした。日本支部の創立者であり、理事長を務める森山晃嗣は当時、全国各地で「正常分子栄養学」の講演活動を行っていましたが、アメリカがんコンベンションに参加した森山は「ちょうどその頃からがん患者の相談が激増していた」こともあり、統合医療の必要性を強く感じ

ていたため、本部の協力のもと日本支部を設立します。そして翌年から「様々な統合療法の情報を一人でも多くの方に届ける」場として、第1回目のがんコンベンション(現・統合療法コンベンション)がスタートするのです。

30年の歴史を誇る統合療法コンベンションは、数多くのボランティアスタッフをはじめ、国内外の統合医療に携わる医師との連携によって成り立っており、これまでに330名以上の医師や専門家による講演がなされ、その参加者は累計4万人を超えています。

今回のコンベンションでは、がん治療はもとより、アレルギーや精神疾患、糖尿病、難病に対する栄養療法や温熱療法などをはじめ、近年の医学のトピックスであるコロナワクチン、ケトン体について、そして食料問題などにも触れていきます。これからの医療と健康を考える上で欠かせない情報をぜひ会場でお聞きください!

第30回 統合療法コンベンションのご案内

開催日 2024年11月9日(土)・10日(日) 会場 JA共済ビル カンファレンスホール



料金	1日券		2日通し券	
	本会員	準会員	本会員	準会員
	¥7,000(税込)	¥8,000(税込)	¥13,000(税込)	¥15,000(税込)
	—	¥10,000(税込)	—	¥18,000(税込)

■本会員…NPO法人がんコントロール協会会員 ■一般…上記のどこにも属さない方
■準会員…ボタニック・ラボラトリー会員・生活科学研究会会員
日本ホリスティック医学協会会員・NHT会員

インターネットでお申込み
お申し込み方法



お電話でお申込み
☎0120-099-727 [平日9:30-17:30]

ボタラボグリーン & ボタラボレッドビーツ



飲み方アレンジ特集

今回はボタラボグリーンとレッドビーツのアレンジレシピをご紹介します!どのレシピも氷を入れてシェーカーでよく振ってお召し上がりください。



グリーンラテ



材料(1人分)

- 水 180cc
- ボタラボグリーン 小さじ1(3g)
- ココナッツミルク 50cc~100cc



レッドビーツラテ



材料(1人分)

- 水 180cc
- レッドビーツ 4g
- ココナッツミルク 50cc~100cc



グリーンカカオ



材料(1人分)

- 水 180cc
- ボタラボグリーン 小さじ1(3g)
- ピュアカカオパウダー 大さじ1

今回のレシピで使用した ボタラボ製品



ココナッツミルク
標準価格(400ml)
648円(税込)



ボタラボグリーン
標準価格(360g)
19,440円(税込)



ボタラボレッドビーツ
標準価格(250g)
12,960円(税込)



ピュアカカオパウダー
標準価格(200g)
2,160円(税込)

ご購入はこちら



東京都在住 50代 坂井結美さんの場合

ボタラボ体験談

私の栄養スイッチ

Testimonies

健康指導師でもあり、ヨガ・インストラクターでもある坂井結美さんは、30代後半のときにパニック障害に悩まされてきました。ひどい時は「死を覚悟」するほどの状態で、仕事を続けながらも、いつ起きるかわからない発作や不安と向き合ってきたそうです。一体どうやって克服できたのでしょうか？

パニック障害を克服し、健康と結婚を引き寄せる

50代の坂井結美さんは、スポーツクラブや地域のヨガ教室、個人サークルなどでフリーのヨガ・インストラクターをしています。仕事柄、周りから元気で健康的と思われるのですが、実は30代後半のときに「パニック障害」に悩まされてきました。

パニック障害は、場所や状況にかかわらず突然起こるのが特徴とされています。動悸や心拍数の増加、冷や汗、体のふるえ、息切れ、めまいやふらつき、自分ではない感覚などの複数の症状が同時に起こり、坂井さんは発作のたびに「死んでしまうのではないかと」と恐怖を感じることも多々あったと言います。しばらくして治まるものの、発作を繰り返すうちに「また起きるのではない

か」と不安になり、それがまた起こりやすい状況を作ってしまったのです。

実は坂井さんは30代のはじめにボタニック・ラボラトリーと出会っています。知人の男性ががんになったことをきっかけに、書店で森山先生の「アメリカはなぜがんが減少したか」の著書を手にとったことがあったのです。書籍を読んだのち、その知人男性に「副作用がある抗がん剤治療を避けること」と、「ボタラボ製品を取り入れること」を伝えたところ、なんとその男性はその通りに実践し、一年ほどでがんが快方に向かったのです。以来、ヨガの指導に生かせるかもしれないと、正分分子栄養学を通信講座で学びはじめました。

の、当時は自身の食生活や栄養にまで気が回らず実践が伴っていませんでした。その頃「断食」を挑戦してみたものの、糖類が入った甘い酵素ジュースを飲んでいたので、状況が良くなることはありませんでした。

パニック障害への不安が高まるにつれ、ついに森山先生に相談します。正常分子栄養学の基本である「いのちの鎖」栄養理論を改めてレクチャーされ、糖質の摂りすぎによって自身の体が低血糖に陥っていたこと、そして細胞を作るためのタンパク質、油、それらを代謝させるためのビタミン、ミネラルが完全に不足していたことがすんなり理解できたのです。

シミや日焼け跡もグリーンを飲み始めてから消え、口内炎もできなくなりました。

元気な心と体を取り戻した坂井さんは、改めて正常栄養学を学び直し、健康指導師の資格を取得。今ではヨガ教室に通う生徒さんにレッスンの前時間を使って栄養指導をするようになりました。栄養不足がどのような症状を引き起こすのか身をもって体験してきたからこそ心から栄養の大切さを語る事ができ、ヨガと栄養の相乗効果を伝えることができていると語ります。

そしてもう一つ、47歳で婚活を始め、なんと知り合って11ヶ月で結婚に漕ぎ着けます。栄養で健康と結婚を引き寄せた坂井さん。愛するパートナーと愛犬とともに、休みになると共通の趣味であるキャンプを楽しみながら、幸せな毎日を過ごしています。